

南九州大学・南九州短期大学ナムディン省現地事務所開所式
郡司副知事あいさつ

本日ここに、南九州大学・南九州短期大学のナムディン省現地事務所の開所式が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

現地事務所の設置は、南九州大学並びに南九州短期大学で学びたいと志すナムディン省の高校生や、ナムディン日本語・日本文化学院の学生にとって、身近に留学先の情報が入手できる、大変心強い存在になるに違いありません。

開所が実現したのも、ひとえに、南九州大学学園の長谷川理事長や、本日御出席されている皆様方の御努力の賜であり、深く敬意を表する次第であります。

県としましても、留学を志すナムディン省の若者が、宮崎に来て頂くことは、大変喜ばしいことであり、農業をはじめとする幅広い分野で活躍していただけることを願っております。

さて、宮崎県とナムディン省のこれまでの関係を振り返りますと、平成26年にナムディン省のホアン副知事（当時：農業局長）が来県し、本県に対し、農業技術の支援要請をされたことが、ナムディン省と宮崎県及び南九州大学の三者が連携するきっかけとなりました。

要請を受け、私も、早速、その年の12月にナムディン省を訪問し、農業大学校やナムディン日本語・日本文化学院、イエンクン村等を視察させていただき、翌年の平成27年に、南九州大学とナムディン省とともに農業振興に関する連携合意書を締結し、「人材育成」「技術支援」「共同研究」の3つの柱で取組を進めているところでございます。

特に、技術支援については、たい肥づくりや安全で安心な野菜づくりに取り組んでおりますが、取組当初は、試行錯誤の日々であったと聞いております。

しかし、今では、先行して取組みはじめたイエンクン村において、たい肥づくりの技術をしっかり習得されていると聞いており、大変頼もしく思っているところです。

今後は、先行して取り組んでいるイエンクン村をモデルに、他の地域への波及を期待するとともに、宮崎県としましても、引き続き、農業技術の面で、ナムディン省の農業振興に貢献できればと考えております。

終わりに、本日開所した現地事務所並びにナムディン省の農業が益々発展するとともに、本日、参加されている皆様方の御活躍、御健勝を祈念申し上げまして、ごあいさつといたします。

平成30年5月30日
宮崎県副知事郡司行敏